



結城農業かわら版



発行元：結城地域農業改良普及センター
TEL：0296-48-0184
FAX：0296-48-2682

第140号
令和4年1月24日



結城地域農業経営士会夫婦合同研修会を開催しました

令和3年12月6日(月)、普及センターと農業経営士主催の夫婦合同研修会を開催し、農業経営士夫婦計25名の出席がありました。

普及センターから担い手育成に関する情報を提供したあとに、会員同士で情報交換をしました。

会員からは、「需要の高いパン用小麦を導入した」、「ネギを新たに導入した」、「大型野菜が売れず、ブロッコリーの契約栽培を始めた」などの報告があり、昨今の厳しい農業情勢の中でも所得確保に向けて工夫されていることが分かりました。

今後も普及センターでは、所得向上・安定確保に向けて支援していきます。



県西合同の農業学園を開催しました

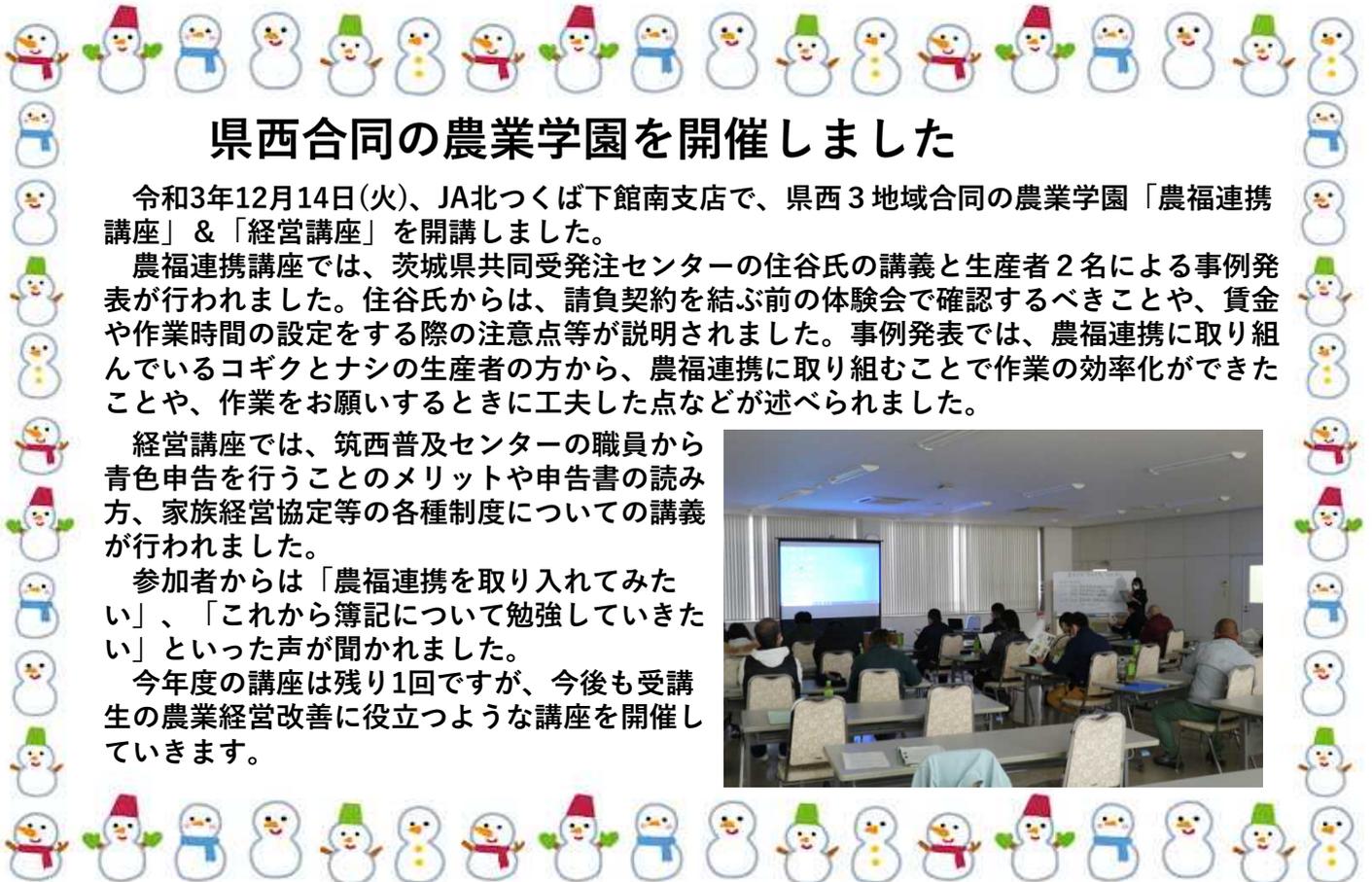
令和3年12月14日(火)、JA北つくば下館南支店で、県西3地域合同の農業学園「農福連携講座」&「経営講座」を開講しました。

農福連携講座では、茨城県共同受発注センターの住谷氏の講義と生産者2名による事例発表が行われました。住谷氏からは、請負契約を結ぶ前の体験会で確認するべきことや、賃金や作業時間の設定をする際の注意点等が説明されました。事例発表では、農福連携に取り組んでいるコギクとナシの生産者の方から、農福連携に取り組むことで作業の効率化ができたことや、作業をお願いするときに工夫した点などが述べられました。

経営講座では、筑西普及センターの職員から青色申告を行うことのメリットや申告書の読み方、家族経営協定等の各種制度についての講義が行われました。

参加者からは「農福連携を取り入れてみたい」、「これから簿記について勉強していきたい」といった声が聞かれました。

今年度の講座は残り1回ですが、今後も受講生の農業経営改善に役立つような講座を開催していきます。



もどくされ

サツマイモ基腐病まん延防止対策にご協力を!!

サツマイモ基腐病により九州地方のサツマイモ産地が深刻な被害を受けています。そして、サツマイモ基腐病に罹病した苗が茨城県内へと流通したことにより、県内で同病の発生が確認されました。

本病のまん延を抑えるには、農薬（商品名：ベンレート水和剤など）による苗の消毒と、早期発見・早期対処が非常に重要です。

栽培中に下の写真のような症状が見られた場合は、すぐに普及センターへご連絡ください。

サツマイモ基腐病まん延防止のため、ご協力をお願いいたします。



写真出典：農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業 (01020C)

令和2年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」QRコード



GAPに取り組んでみませんか？

東京オリパラにおいて食材調達の基準とされたことや食品安全確保のためのHACCPの義務化などから、環境保全や食品安全等の取り組みが網羅されたGAPに対して、製造・卸売・小売業や飲食業等の実需者の関心が高まっています。

今後GAP認証を取得した農産物の販路拡大が期待される中、普及センターではJGAP取得推進講座（R3.11.25開催）やGAP導入支援アドバイザー派遣・連携支援などを行っています。

GAP自体、実際どんなことをするのかよくわからずハードルが高いなと感じる方は、農林水産省HPのオンライン研修「これから始めるGAP」に分かりやすくまとまっています。まずはQRコードからHPをのぞいてみてはいかがでしょうか。



講座の様子



QRコード
農水省オンライン研修
「これから始めるGAP」

新年あけましておめでとうございます!!

結城地域に来て9か月が過ぎ、新たな年を迎えました。赴任したのが昨日のように感じるほど、月日が経つのが早く感じる今日この頃です。(稲毛田)

